

## 2. 国際医療薬学教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（\*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

### 【2018年（平成30年）度】

#### 1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<北海道大学>

##### ○ 海外研修プログラム：「台北医学大学との学生交流」

- ・学部生及び大学院生を対象として、今年度で4年継続しているプログラムである。
- ・台北医学大学薬学部の研究室を見学、各自の研究内容に関する発表と意見交換を行った。
- ・台北医学大学の附属病院及び提携病院で、主に薬剤師が行っている業務や臨床研究部門を見学し、薬剤師業務や医療・保険制度の両国間の違い等について意見交換を行った。
- ・東北大学においても同様の研修を行っており、合同の成果発表会を行なった。

◇ 参加人数：臨床薬学専攻博士課程学生1名、6年次生1名

<千葉大学>

##### ○ 実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム（\*）

- ・学部生を対象として、2012～2016年度実施の文科省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組として実施していたプログラムを2018年度も継続して実施した。
- ・千葉県内三薬科大学が特徴的に有する教育プログラムを相互に受講した。

<富山大学>

##### ○ ニュージーランド短期英語研修プログラム（\*）

- ・学部生及び大学院生を対象として、本学の外国人教員が帯同の上、ニュージーランドでホームステイをしながらの語学研修を実施した。

##### ○ 国公立3大学連携事業：南カリフォルニア大学における臨床薬学研修（\*）

- ・学部生及び大学院生を対象として、国公立3大学（京都、名古屋市立、富山）が連携して、南カリフォルニア大学でのPharm Dコースの一部を体験する臨床薬学研究を実施した。

・韓国、中国の学生との協働作業や研修を通して、密な国際交流が可能となった。

○ 薬学類・創薬科学類 シンシナティ短期留学プログラム

・スーパーグローバル大学創成支援の構想と方針に従って、海外派遣・留学プログラムやインターンシップ先等の開拓と、単位認定に関するカリキュラム制度設計を行った。

・学部生を対象として、2年次の第2クォーターに海外研修へ行くことを推奨している。短期留学プログラムは単位化されており、他の科目の履修に大きな影響を与えず海外研修を行うことができる。

・アメリカ合衆国オハイオ州シンシナティシンシナティ大学 ELS Language Centers シンシナティ校、 University of Cincinnati Medical Center、The University of Cincinnati, College of Medicineなどの薬学系学部や病院・薬局等を訪問し、施設見学やスタッフ・学生との交流や質疑応答などを行った。

◇ 参加人数：10名

<静岡県立大学>

○ 薬学英语プログラム

・学部生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による薬学領域における英語コミュニケーションを習得する教育を実施した。

○ イングリッシュリサーチプレゼンテーションプログラム

・学部生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による薬学研究発表を英語で行う際の実用的なトレーニングを実施した。学生は自ら行ってきた卒業研究に基づいて英語での発表資料の作成と発表練習を行った。

○ 科学英語プログラム

・大学院生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による国際学会での発表支援をカリキュラムの中で実施した。

<名古屋市立大学>

○ 国公立3大学連携事業：南カリフォルニア大学における臨床薬学研修

・学部生及び大学院生を対象として、国公立3大学（京都、名古屋市立、富山）が連携して、南カリフォルニア大学でのPharm Dコースの一部を体験する臨床薬学研究を実施した。

・韓国、中国の学生との協働作業や研修を通して、密な国際交流が可能となった。

◇ 参加人数（名古屋市立大学）：学部生2名

<京都大学>

○ 海外自主学修プログラム in 香港

・学部生及び大学院生を対象として、実地体験を通じて海外と日本における薬学教育や医療制度の違いを考え、グローバルな視点を身につけるために、香港中文大学及

び香港特別行政区内の公立病院・地域薬局を訪問し、研修を行った。

- ・香港中文大学では、授業に体験参加するとともに学生主体で日本での薬学教育や医療制度を説明し、両国の違いについて先方の教員やインターン修了生と意見交換を行った。公立病院、地域薬局、ファーマシューティカルケアNPO法人では、薬剤師業務について実地調査し、医療制度の違いと関連付けながら業務内容の違いに関して理解を深めた。

◇ 参加人数：教員2名（京都大学・富山大学各1名）、学生5名（京都大学2名、北海道大学1名、富山大学2名）

○ 国公立3大学連携事業：南カリフォルニア大学における臨床薬学研修

- ・学部生及び大学院生を対象として、国公立3大学（京都、名古屋市立、富山）が連携して、南カリフォルニア大学でのPharm Dコースの一部を体験する臨床薬学研究を実施した。

- ・韓国、中国の学生との協働作業や研修を通して、密な国際交流が可能となった。

◇ 参加人数（京都大学）：教員1名、学部生3名

○ 南カリフォルニア大学薬学部臨床実習研修事後ワークショップ

- ・本ワークショップは、アメリカ南カリフォルニア大学(USC)での研修を受けて、研修での学習や経験に関する発表を通じて理解の深化を図るとともに、英語によるプレゼンテーション能力の向上を目指して行ったものである。USCプログラムに参加した富山大学・名古屋市立大学・京都大学の学生6人に加え、各大学の担当教員、および特別ゲストとして香港中文大学のKeary Rui Zhou先生及びChui Ping Lee先生を招いて実施した。USC、USCとの交流実績についての紹介に続き、研修に参加した学生から、研修で見学した薬局や病院、USCでの薬学教育プログラム、各国での薬学教育の違いなど様々な視点からの発表が行われ、Zhou先生およびLee先生から国際的な薬学教育、薬剤師教育・卒後教育システムについての講演があった。

<岡山大学>

○ フィリピン共和国における高度先導的薬剤師研修プログラム（\*）

- ・学部学生を対象として、途上国での薬学教育および薬剤師業務の高度化に貢献できる国際性に富んだ高度先導的薬剤師の養成を大きな目標として掲げ、薬学科学生5名をフィリピン国内の薬学系大学の中でもトップレベルの薬学専門教育を実施しているUniversity of San Carlos（USC、岡山大学と大学間交流協定を締結済）に派遣した。

- ・大学での薬学教育の視察、セブ・シティ市内の中核病院であるPerpetual Succour Hospital（PSH）及び同市内薬局での研修を実質5日間実施した。

- ・各研修参加学生にはUSC薬学科学生のバディが伴い、学内の講義・演習に共に参加することで、学生が直接的に同国の薬学教育を実体験した。

- ・最終日には研修参加学生による英語でのプレゼンテーションを実施した。

◇ 参加人数：4年次生3名、6年次生2名、教員3名、薬剤師1名

<広島大学>

○ 米国薬学部臨床実習研修

- ・学部学生を対象として、テネシー大学、マーサー大学を訪問し、臨床実習や講義、及び各地域の病院・薬局薬剤師業務の研修に参加した。日本の薬学教育及び病院薬剤師の役割についてのプレゼンテーションも行うなど、活発な意見交換も行った。
- ・テネシー大学における研修では、他国からの学生や臨床薬剤師も同じ研修に加わることによって、米国のみならずその他の国の薬剤師教育や臨床業務についても議論し、状況の共有と大学間交流ができた。

<徳島大学>

○ 2018年度 徳島大学薬学部—米国ノースカロライナ大学（UNC）薬学部症例検討ビデオカンファレンス

- ・学部生を対象として、学部間協定校である米国ノースカロライナ大学（UNC）薬学部との交流事業の一環として、ビデオ会議システムを活用し、両校学生によるリアルタイムでの症例検討会を例年実施している。
- ・本年度は、4回のビデオカンファレンスを実施し、英語での症例検討を行うことで、臨床におけるグローバルな考え方の必要性について学んだ。

◇ 参加人数：学部生20名

<長崎大学>

○ 学生自主学修プログラム：アメリカ合衆国ニューメキシコ大学薬学部研修

- ・大学院生を対象として、アメリカ合衆国アルバカーキ市のニューメキシコ大学薬学部を1週間訪問し、英語による授業の聴講、附属病院Pain Centerおよび薬剤部の訪問、UNM Poison Control Centerや地域薬局の訪問などを通して、日本とアメリカ合衆国における薬剤師の職能の共通点および差異について学ぶとともに、英語コミュニケーション能力の涵養を行った。

◇ 参加人数：長崎大学博士課程学生2名、千葉大学博士課程学生1名、教員（長崎大学）1名

<熊本大学>

○ 米国ニューメキシコ大学（UNM）臨床薬学研修（\*）

- ・学部生を対象として、UNMにおける臨床薬剤師研修及びアメリカにおける薬事行政を理解するための研修を実施した。

○ 中国薬科大学（China Pharmaceutical University、CPU）臨床薬学教育研修（\*）

- ・学部生を対象として、CPUにおける臨床薬学教育研修及び中国の医療制度を理解するための研修を実施した。

○ 米国ジョージア州立大学（GSU）医療薬学研究推進・海外留学プログラム（\*）

- ・大学院生を対象として、GSUにおけるグローバルな医療薬学研究を推進するための研究留学プログラムを実施した。

## 2) その他（大学としての取組等）

### <千葉大学>

#### ○ グローニンゲン大学（オランダ）の教育プログラム視察

- ・国公立大学の学部高学年学生及び大学院生を対象とした高レベルの海外臨床研修プログラムの開発に向けて、大阪大学の教員、千葉大学、名古屋市立大学の若手教員がオランダ・グローニンゲン大学を訪問し、研修プログラム構築に向けて同大学の担当教員との面談、研究活動の紹介、教育プログラムの紹介及び薬学部、附属病院、研究所等の見学を実施した。

◇ 参加人数：千葉大学・大阪大学・名古屋市立大学教員各1名

### <静岡県立大学>

#### ○ 日中健康科学シンポジウム

- ・大学院生を対象として、本学と浙江省医学科学院との共催で日中健康科学国際シンポジウムを開催し、大学院生が口頭発表者として参加している。H30年度は、2018年11月に静岡市で開催。

#### ○ 薬食国際カンファレンス

- ・大学院薬食研究推進センターが中心となり、健康食品や代替医療に関する国際会議を開催し、大学院生がポスター発表を行った（隔年開催）。

### <名古屋市立大学>

#### ○ グローニンゲン大学（オランダ）の教育プログラム視察

- ・国公立大学の学部高学年学生及び大学院生を対象とした高レベルの海外臨床研修プログラムの開発に向けて、大阪大学の教員、千葉大学、名古屋市立大学の若手教員がオランダ・グローニンゲン大学を訪問し、研修プログラム構築に向けて同大学の担当教員との面談、研究活動の紹介、教育プログラムの紹介及び薬学部、附属病院、研究所等の見学を実施した。

◇ 参加人数：千葉大学・大阪大学・名古屋市立大学教員各1名

### <岐阜薬科大学>

#### ○ アッセンハイマー慶子先生講演会

- ・ドイツのドイツセントラル薬局開設者であるアッセンハイマー慶子先生を招へいしてかかりつけ薬剤師の環境に関する講演を実施し、教員、学生と共に本件についての質疑応答、意見交換を行った。

### <京都大学>

○ 南カルフォルニア大学薬学部臨床実習研修事後ワークショップ

- ・本ワークショップは、アメリカ南カリフォルニア大学（USC）での研修を受けて、研修での学習や経験に関する発表を通じて理解の深化を図るとともに、英語によるプレゼンテーション能力の向上を目指して開催した。
- ・USCプログラムに参加した富山大学・名古屋市立大学・京都大学の学生6人に加え、各大学の担当教員及び特別ゲストとして香港中文大学のKeary Rui Zhou先生及びChui Ping Lee 先生を招いて実施した。
- ・USC、USCとの交流実績についての紹介に続き、研修に参加した学生から、見学した薬局や病院、USCでの薬学教育プログラム、各国での薬学教育の違いなどについて発表が行われ、Zhou先生及びLee 先生から国際的な薬学教育、薬剤師教育・卒後教育システムについての講演があった。

<広島大学>

○ マレーシアとの交流プログラム

- ・International Medical University薬学部など、海外大学との派遣、受け入れ、共同研究などの交流を行った。今後も継続して実施する予定である。